



開催報告！全国縦断「ダブルケア勉強会」 in かなざわ



スマイル☆ケアケアプロジェクト全国縦断ダブルケア勉強会（全4回）のラストは、NPO法人ワークライフバランス北陸との共催で、2月1日（土）小京都金沢にて開催しました。今回も、リアル参加とオンライン参加を合わせて約20名の方に参加して頂きました。

第一部は「ダブルケア」について、ケアケアメンバー高橋佳子が**熱弁**。北陸地方の**ケアの特徴**、石川県の行政等の**支援策**、さらに最近**キュンキュン**したケアにまつわる**じ〜ん**ときた話まで、盛りだくさんの内容をお伝えしました。

第2部は、グループセッションにて「**経験から考える**」というテーマでたっぷり**対話**をする時間を取りました。

最初はじっと講師の話聞いてくださっていた参加者の皆さまも、徐々にご自身の経験やこれからどうしていったらよいのかという話まで、**積極的、かつ率直**に想いを話されていたことが印象的でした。

スマイル☆ケアケア結成企画として開催した勉強会も、東京、神戸、福岡と日本列島を横断し、今回の金沢でゴール！全4回の勉強会を通じて、参加者の皆さまから、**困ったこと、辛かったこと、切実な要望**など様々なお話を聞かせていただきました。**本当にありがとうございました！**

皆さまからお聞かせいただいたことを**私たちのリソース**とし、4月からスタートする**新企画**へ繋げていきたいと思っています！また、皆さんとリアルにお会いしたり、私たちの想いを通して、たくさんの方とたくさん**対話**を続けていけることを楽しみにしています。

ご参加の皆さんからたくさんのご感想をいただきました！

- ・「**ダブルケアはある日突然やってくる**」という言葉が心に刺さった
- ・「**ダブルケアは誰にでも**」の時代、突然**ダブルケア**に直面しても困らないために**話し合い**は大事だとわかった
- ・ダブルケアラーが感じる**負担に対する支援**をこれから勉強していきたい
- ・会社の中に、**制度があっても“お互い様の風土がない”**ことが課題だと思う
- ・**仕事を辞めないでいい方法**を考えてくれる会社があることを知ることができて良かった
- ・会社での**ダブルケア**への取組について学ぼうと思ったが、**自身の備え**になる話もたくさん聞けたので活かしたい
- ・**狭義と広義のダブルケア**の意味を理解することができた
- ・いろいろな立場の方の、いろいろな**ダブルケア**の事例や経験を聞くことができて良かった
- ・北陸の女性・高齢者の就業率が**全国1位**であることを知った
- ・**お互い様の文化、仲間の生活を知る**ことが大切だと思った
- ・地域コミュニティや団体による「**相談の場**」があることは心強いと感じた
- ・働きづらさを抱える人が多い、**自分だけで抱えずに周りに相談**したほうが良いとわかった

そして、私たちケアケアメンバーにも嬉しいメッセージが・・・（涙）「**今後も活動を楽しみ続けてください！**」ケアケアメンバーが一番大切にしている「**楽しむ**」ことが伝わってよかったとメンバー一同、感無量でした。また、「**経営者のための勉強会でその大切さを啓発してほしい**」というご要望もいただきました。今後も、全国の自治体、企業や団体向けにも「**ダブルケア勉強会**」を開催していきます。ぜひ開催してほしい！とのご要望も大歓迎です。いつでも、スマイル☆ケアケア事務局（下記参照）までご連絡ください。

編集後記

新型コロナウイルスの影響で、学校は休校、公共施設ものきみ立ち入り禁止、イベントは延期や中止、休業を余儀なくされている企業や、家族のケアで仕事を休むことを余儀なくされている方もいらっしゃると思います。この状況が1日も早く終息することを祈る気持ちでいっぱいです。

一方、こんな時だからこそ助け合いが起きているなあとも感じています。困っているのは自分だけではない、一人ではできないことも声かけあって知恵を出し合って、何とか乗り切ろうよ！と逞しく動いているメンバーがいます。在宅勤務やテレワーク、web会議、時差出勤、フレックスタイムなど柔軟な働き方が始まった会社も少なくありません。私たちは、ケアと仕事の両立をしている人だけでなく、誰もが働きやすい社会になることをこれからもブレずに目標として活動していきます。（M.N）スマイル☆ケアケアへのご要望などがございましたら、ドシドシお声をお寄せくださいね。お待ちしております。

次号は、春爛漫の**4月11日**発行予定です。お楽しみに〜\(^o^)/

【連絡先】スマイル☆ケアケア事務局 E-mail: smilecarecare@gmail.com